

近鉄ほいくえん ハルカス Math-Activity

すうがく アクティビティ



考えながらやってみた

ほら、できたよ！

だから考えることが楽しくなった！

楽しいからもっと考える

近鉄ほいくえんハルカスでは、月ぎめ保育で**Math-Activity**（マス・アクティビティ）を実施しています。

Math-Activity は運営会社であるピジョンハーツ株独自の幼児教育プログラムです。月ぎめ保育のお子様を対象に通常保育の一環で、1歳半からのお子様へ週2回実施しています（年齢と発達段階に応じた内容を提供します）。幼児期に必要な良質な体験を積むことを目標としています。

Math-Activityとは？

子どもたちがこれから学習を進めていく際に理解力や思考力、表現力はとても大切です。これらの力は、幼児期に育まれた考える力・ひらめき・行動意欲が土台になっていきます。幼児期に、これらの力が十分に形成されると必要となる基礎的な力が身について、学習がきっと楽しいものになっていきます。

それには、今に時期に必要な良質な体験がとても大切です。

Math-Activity（マス・アクティビティ）は、これらの力を育むために、数学的な考え方をもとにして生まれたアクティビティです。

数学的な要素が、ふんだんに盛り込まれたいろいろなアクティビティで子どもたちが楽しく「数学的体験」をしていきます。

Math-Activity の元になっている数学的な領域と視点

<領域>

数(数える) 数量 数(数字) 分類
空間認識 形 比較計測 配列

<視点>

数量 図形 操作・活動 態度 条件
思考・表現

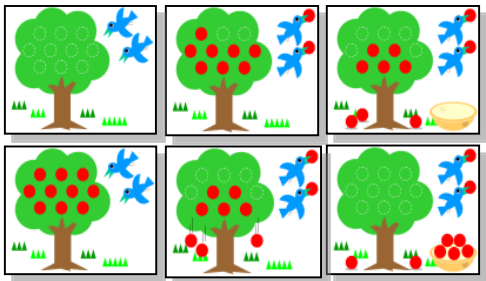
いろいろ体験する。繰り返し体験する。



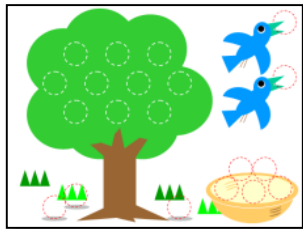
子どもたちは、生活の中のさまざまな「体験」とおしていろいろな力を身につけていきます。

ひとつの体験では、わからないことも、たくさんの別の体験や、繰り返し体験することで結びつきが生まれ、まるで回路がつながるように新たな力が育っていきます。

Math-Activityは、これらの体験と体験が、相互につながりをもつように構成されています。



お話ボード(紙芝居)



ワークシート



Math-Activityの教材は、子どもたちの発達段階にあわせて、いろいろな体験ができるよう工夫されています。

監修のことは

子どもたちは体験を通して様々なことを学んでいきます。

ものを手で扱ったり、数えたりしながら形の面白さや数の不思議さに気づいたり、大きさや順序の規則性の発見をしたりという数学的な体験は、子どもたちの数学的なセンスを引き出します。

「Math-Activity」は、数量、図形、操作・活動、態度、条件、思考・表現の6つの視点から数学的要素を分析して比較、分類、模倣、類推、規則性の発見など、様々な数学的センスを伸ばす内容がもとになって構成されています。

数多くのアクティビティや体験を通して子どもたちの思考力や表現力を身につけ、好奇心や関心意欲を喚起します。

今、子どもたちに必要なことは、知識をたくさん覚えることではなく、「考える力」「ひらめき」「行動意欲」を育む土台作りです。

山梨大学 教育人間科学部長・教授

中村 享史 先生

所属 大学院教育学研究科 教育実践創成講座